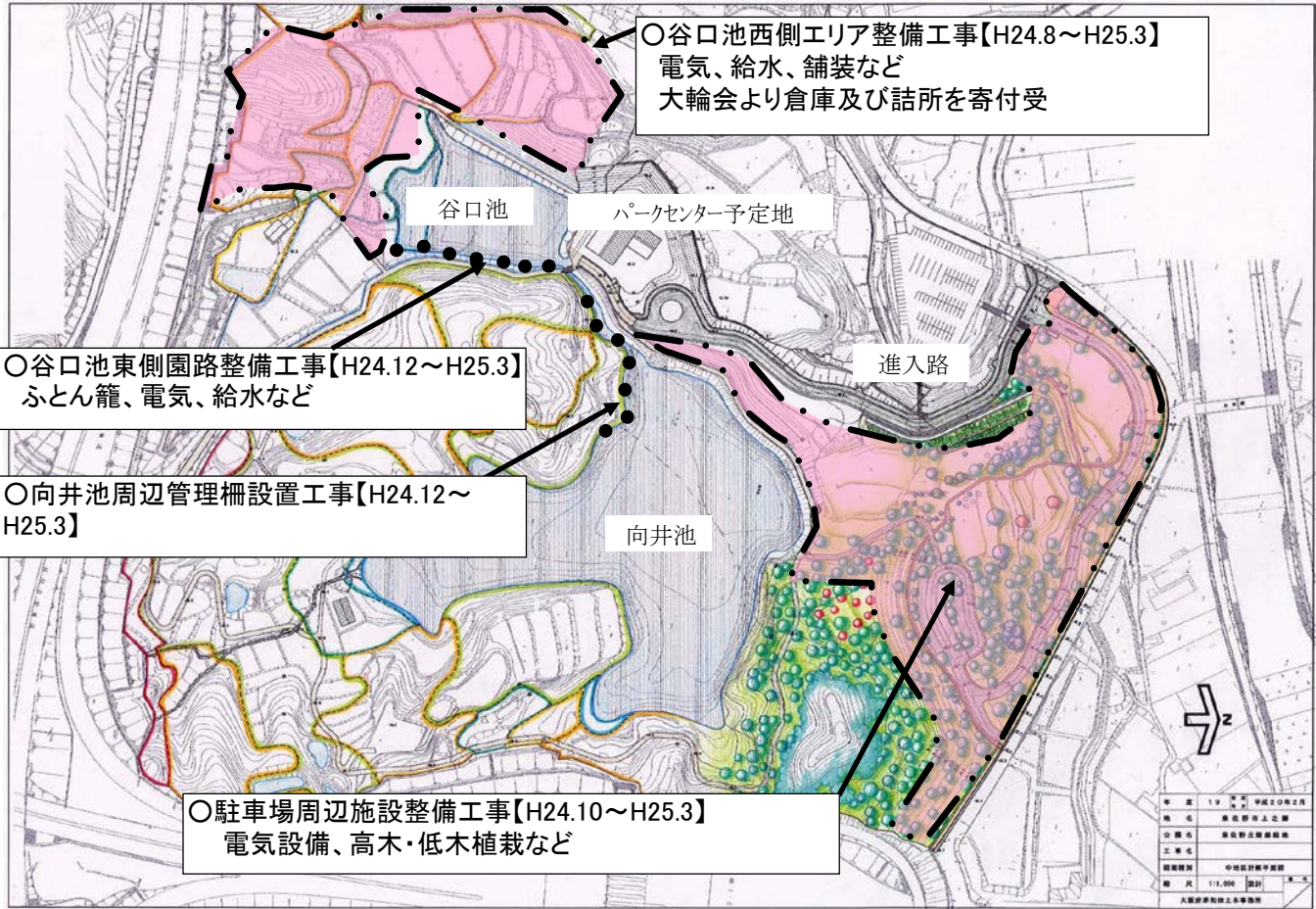
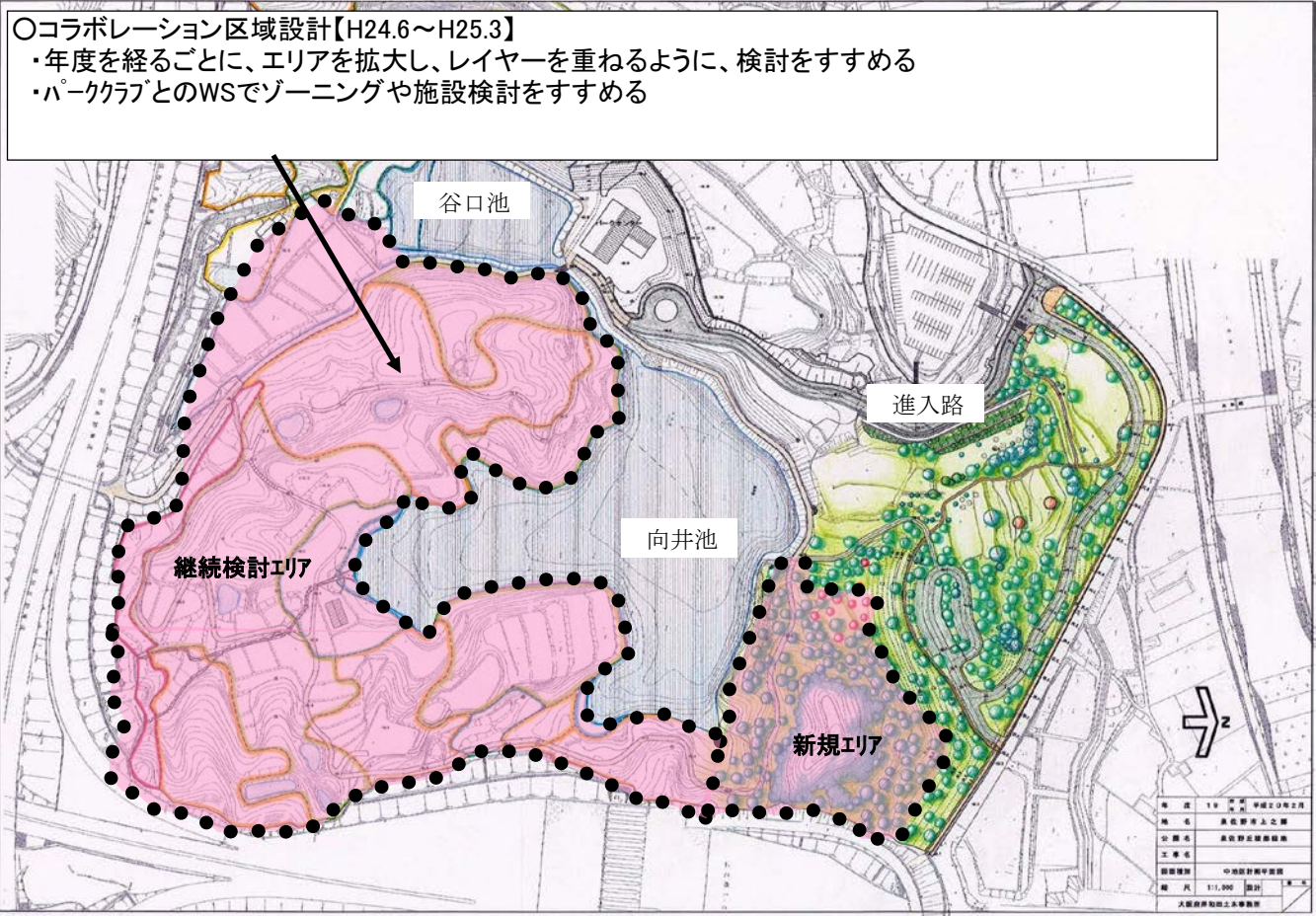


平成24年度大阪府活動計画について（工事・委託など）

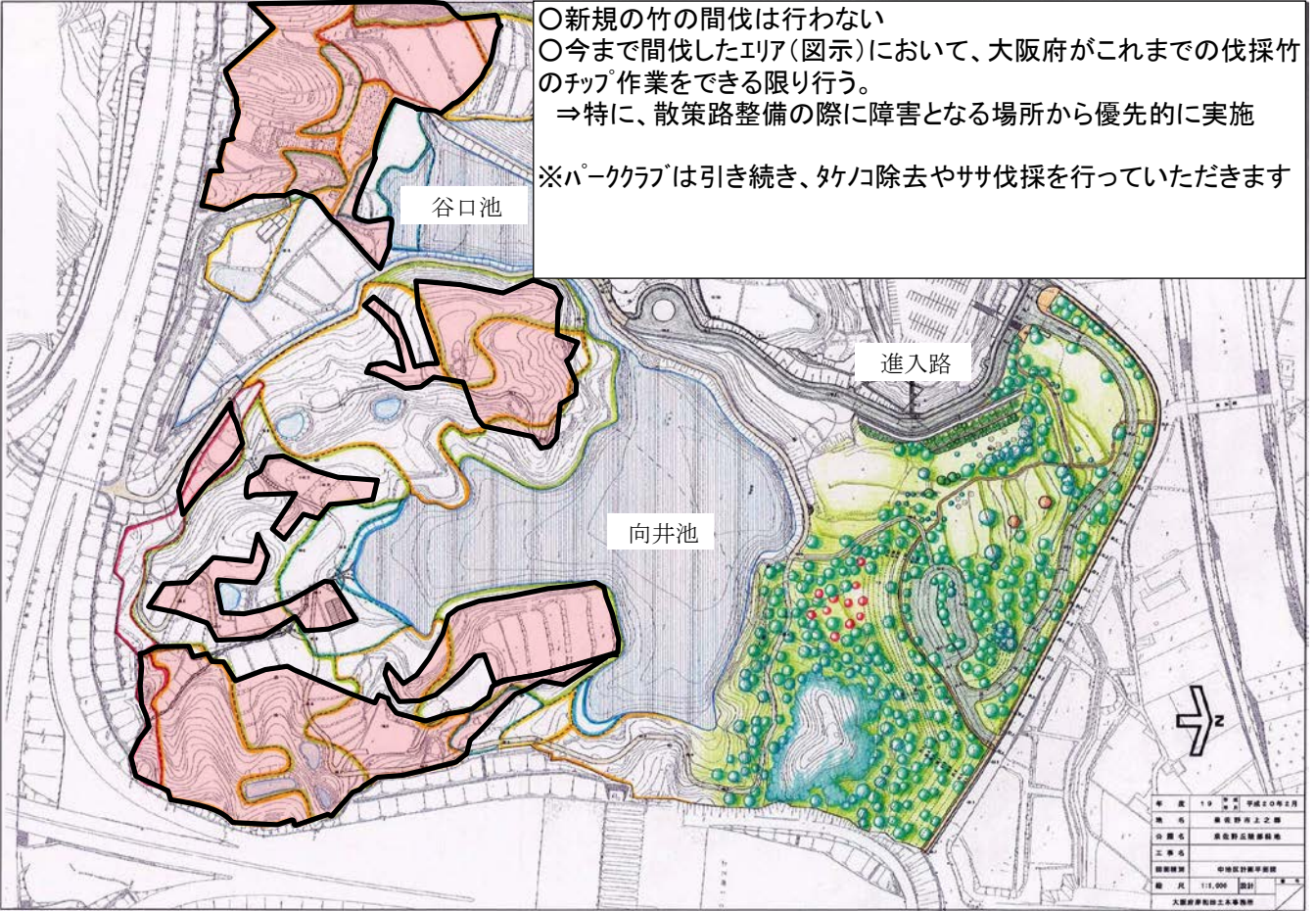
工事箇所図



委託箇所図



コラボレーション区域での活動



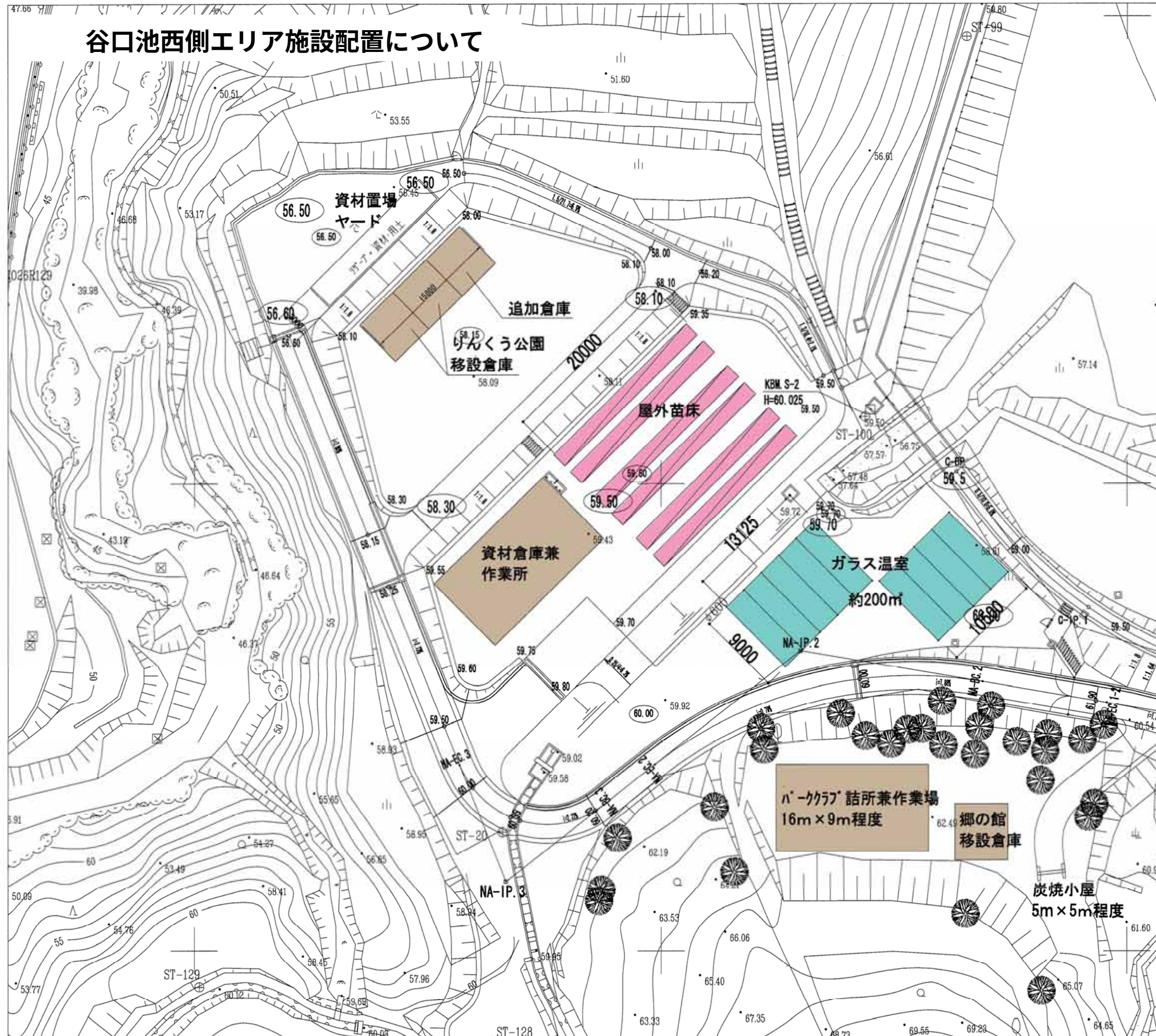
イベント・広報について

○防災FWCのような、大阪府主催のイベント  
⇒これまでと同様に、大阪府が主体となり、進める  
○地元小学校などを対象とし公園を知ってもらう活動 ⇒地元のニーズを把握したうえで、協働ですすめていく

※タケノコ掘りや泉州芋煮会など一般参加者だけでなく、大輪会も対象にしたイベント  
⇒これまでと同様に、パーククラブ主催とし、大阪府は広報等のサポートする



# 谷口池西側エリア施設配置について



## 配置施設イメージ

### 追加倉庫



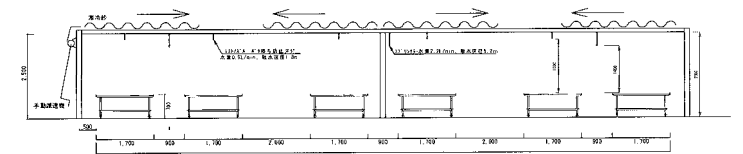
### 資材倉庫兼作業所



### ガラス温室



### 屋外苗床



### パーククラブ 詰所兼作業場





# 平成24年パーククラブ・大阪府活動計画図

■ ■ ■ ■ コラボレーション区域

| 園路の種類          | 活動状況    | H24年実施 |
|----------------|---------|--------|
| 細 散策路(協働)      | 破線 計画中  | パーククラブ |
| 細 散策路(大阪府)     | 二重線 整備中 | 大阪府    |
| 太 管理車両用通路(大阪府) | 実線 活動済  |        |

広場整備

アスファルト舗装(既設)

※園路の線形等は決定したものではなく、樹木を避けて道をつくるなど  
現地の状況に応じて変化を持たせた形にする。

## 基本方針

1. 月一回以上は参加して、全員参加で物事を推進しよう。
2. 参加できなかった場合は、活動報告書及び会議議事録を確認して、  
情報を共有しよう。
3. 現場活動は、あせらず、無理せず、安全第一で楽しく行動しよう。

## 1. 全体活動

- (1) タケノコ・竹を除去する。  
① タケノコや1年生の若竹を取り除く作業をする。(4～6月)  
② コラボ区域全体の細竹を取り除く。
- (2) 水辺の広場を整備する。[図示]  
① 水辺の広場と周辺の笹を刈る。  
② 水辺の広場前の向井池も水辺を整備する。  
③ 向井池内に落下している伐採竹を取り除く。(5月竹いかり作り)

## 2. 園路作り・整備グループ(全体活動としても実施する)

- (1) 管理園路を整備する。[図示]  
① イノシシに掘り返された管理園路(竹チップ敷設)を整備する。  
② レンジャー広場から裏門への通路までの草刈をする。  
③ 管理園路沿いの1～3m程度の草刈をする。
- (2) 散策路を作る。[図示]  
① 踏査途上にできた散策路(幅員1m程度)ルートを検討し、確定していく。  
② 竹を利用して散策路(約1m)を整備して、園路沿いの1m程度の草刈をする。  
③ 谷口池入口付近の急な坂道に、階段及び手すり等を取付ける。
- (3) 向井池周辺園路を整備する。[図示]  
① 水辺の広場～竹の丘までの管理遠路を作る。  
② カワウの糞に覆われた常緑樹の枝切りをする。  
③ 放置された伐採竹をチップ化する。
- (4) 向井池柵田への散策路を作る。[図示]  
水辺の広場～向井池柵田～奥池への周辺園路のルートを検討する。  
⑤ 独立した小池周りを整備する。[図示]  
ネジキ池、竹の丘池等の池の周りを周遊する散策路を整備する。  
(6) 向井池の料金所下の湿地へ木道(仮設)を整備する。[図示]

## 3. 郷の館周辺整備グループ

- (1) 谷口池の水辺を整備する。[図示]  
谷口池のハチク除去後の水辺を整備する。
- (2) レンジャー広場を整備する。[図示]  
① 細いハノキの伐採をする。  
② レンジャー広場を横断する素掘り水路の排水整備をする。  
(3) レンジャー柵田(R-3・R-7)の利用方法を検討する。[図示]  
① 試験的にR-3・R-7を田圃・畑・その他ビोटープに利用する。  
② 柵田の草刈をする。  
③ 水路の整備と水路周りの草刈をする。  
(4) 果樹を管理して、果実調査を実施する。  
① 谷口池水辺のスモモの木の管理 [図示]  
② レンジャー柵田R-9のスモモの木の整備 [図示]  
③ パンブー広場隣接の梅・カキの木の管理 [図示]  
④ パンブー広場の管理道路沿いのスモモの木の管理 [図示]  
⑤ ヤマモモの斜め木近くの梅の木の周りの柵を設置して、盗難対策をする。[図示]  
⑥ 山桜の大径木近くの栗の木の管理 [図示]  
⑦ 下高池(D池)手前の果樹(クリ・カキ)の管理をする。[図示]  
⑧ チャノキ(幼木)をヶ所に集めて整備していく。  
⑨ それぞれの時期に果実調査を実施する。(※サザナミ・梅・クリ等)  
⑩ 果樹分布図を作成する。  
(5) シイタケ栽培と管理をする。  
(6) 竹炭をつくる。  
① イベント用の竹炭を作る。(年6回程度)  
(7) ファイアーサークルをレンジャー広場前につくる。

## 4. 自然資源発掘グループ

- (1) 定点観察をする。  
① (昨年度に続き) 定点観察ポイントの四季写真を撮影する。(年4回)  
② No 毎の四季の状況写真を整理する。
- (2) ササユリの調査と保存活動をする。  
① 谷口池のササユリの本数調査・分布調査をする。(6月)  
② 谷口池の草刈をする。(12月)  
(3) 花木調査(四季を通じて)と樹名板を取付ける。  
① 花の咲く樹木を調査し、季節の花の時期マップを作成する。  
② 上記に伴い新たな種類の花木に樹名板を設置する。
- (4) ドングリ調査をする  
① ドングリの木の分布調査とマップを作成する。  
② ドングリ拾いとドングリの植樹をする。(10月・11月)  
(5) 竹林調査と毎木調査をする。…将来の樹林の検討材料  
① コドラートを設置して新竹の本数調査と既存竹の本数調査をする。  
② 同上のコドラート内に実生の樹木の調査をする。  
(6) 昆虫調査をする。  
① 水辺でトンボ調査(7月)を実施  
② セミの種類・鳴き声時期調査をする。(7月下旬)  
(7) 野鳥観察をする。  
(8) 水辺の生き物調査をする。  
(9) 山菜(4～5月)・きのこ調査(9～10月)をする。  
(10) 草本調査R-3, 7を継続(5月、10月)する。

## 5. ゾーニング・整備計画係

- (1) ゾーニングを具体化する。  
① 「検討中」及び「未詳地」としたゾーンを、「活用」・「保全」・「保存」ゾーンに分類を検討していく。  
② ゾーン毎の整備計画を検討する。
- (2) 園路のルート計画を設定する。
- (3) 竹林で残す場所と現在の樹林を将来どのようにするのかを検討する。
- (4) 水路や排水計画を検討する。  
コルゲート管水路の改修方法を検討する。

## 6. イベント係

- ① 山桜を愛でる会(4/1 クラブ内イベント)
  - ② 春のタケノコ掘りイベント(4/21 対外活動)
  - ③ 他ボランティア団体との協働(7月)
  - ④ 夏休みイベント(8月クラブ内イベント)
  - ⑤ 秋の対外イベント(10月対外活動)
  - ⑥ 4期生歓迎会(11月)
  - ⑦ ミニ門松つくり(12月)
- 大阪府とともに地元小学校と調整を図り、ニーズを把握し、体験型イベントの開催につなげる。

## 7. 広報・ホームページ係

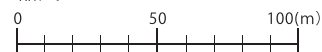
- ① 会報を年2回発行する。
- ② 現在個人的・試験的に実施中のフェイスブックの活用から、  
オフィシャル・ホームページを開設する。
- ③ 撮影した写真データの共有保存を検討する。

## 8. 検討会(年6回程度)

- ① NPO法人に向けての検討会
- ② 次年度方針検討会



縮尺 1:1800



協議 2

パークセンター

向井池

向井池周遊  
散策路の整備

谷口池

竹の丘

ハチク除去

レンジャー  
広場整備

スモモ

カキ・ウメ

竹の丘池  
散策路の整備

パンブー広場

水辺の広場

チップ敷き済み

郷の小径

カキ・クリ

下高池

ヤマザクラ

クリ

ウメ

スモモ

スモモ

R3

R7

R9